

1月



◆子ども医療費助成制度改善を求める署名
3万筆超を提出（1/12）
県民から集めた32,912筆を本田会長が代表し、県に提出しました。

被爆体験者の早期救済を求める活動

「長崎の黒い雨等に関する専門家会議」報告書に対し、国が「客観性がない」と退けたことに対し、強く抗議しました。6月には厚労省に追隨する長崎市の対応を批判、地元議員の首相の姿勢を厳しく非難するなど、被爆体験者の救済を求めました。10月には新厚労大臣にも救済を求めました。

3月

▶市民公開講演会「ヨーロッパの最新コロナ事情と日本のポストコロナ」（3/18）

ドイツ在住で医師・ジャーナリストの村中璃子先生を講師に66人が参加しました。



共済制度何でも相談室（3/29、11/1）

保険医年金の受け取り方と税金について相談が寄せられるなど、嶋顧問税理士が相談に応じています。



◆歯科研究会「CAD/CAM機器の特性と補綴時の配慮ポイント」（3/31）
和田精密歯研（株）顧問で歯科技工士の山口敦氏が講師を務め、22人が参加しました。

4月

统一地方選（4月9日投・開票）
県議会議員立候補予定者に対して医療等に関するアンケートを実施しました。

▼ポストコロナ 会員アンケート記者発表（4/12）
開業医の6割以上が今後の経営を不安視している実態と患者の受診抑制も生じていることを報告。進む開業医の高齢化についても訴えました。



◆県にIR整備計画撤回を求める要請（4/13）
本田会長が「不透明な計画から今すぐ撤退すべき」との要望書を県に提出しました。



▶市民公開講演会（4/19）
熊本協会理事で産婦人科医の片瀬美和子先生が、「学校での性教育支援を通して考える～自分を大切にすること～」と題して講演し、50人が参加しました。

5月

▶承継・閉院テキストの発行
医院の承継・閉院に役立つ情報となるよう、「診療所の承継と閉院」を作成。別冊として「閉院時の提出書類」の原紙を一纏めにした綴りもあわせて作成。

◆学校健診後治療調査結果記者発表（5/18）
2022年度の学校健診後治療調査結果を本田会長と渡邊常任理事が報告しました。

▼平和問題講演会「戦争を回避するために、軍拡ではない道筋」（5/20）

元防衛官僚の柳澤協二氏が講演しました。県内マスコミOBで作る「言論ながさき」が協賛し、106人が参加しました。



▼スタッフ接遇セミナー「医療従事者として意識しておきたい話し方」（5/23）

福岡市・K'sオフィス代表の佐竹桂子氏が講演し、292人が参加しました。

6月

▼保団連国会行動（6/1）
加藤・西岡・山田・古賀議員と面談しました。

新型コロナ五類移行後の医療機関の現状やこども医療及び妊産婦医療費助成制度の拡充、歯科医療の改善などを求めました。11月には診療報酬の引き上げを求める会員署名190人分や保険証廃止問題会員アンケート結果を提出しました。



◀市民公開講演会「社会の中の発達症」（6/10）
長崎大学教授の今村明先生が講演し、192人が聴講しました。

▶医院承継閉院セミナー（6/28）

「診療所の事業継承と閉院」の講演のほか、会員から承継の実践報告が行われ、51人が参加し好評でした。



▼第31回日常診療経験交流会「新型コロナ5類移行後の対応探る」（6/30）

福島喜代康先生（日本赤十字社長崎原爆諫早病院院長）、長谷川麻衣子氏（長崎県福祉保健部感染室室長）、櫻川常任理事事が講演し、87人が参加しました。

共済制度何でも相談室（3/29、11/1）

保険医年金の受け取り方と税金について相談が寄せられるなど、嶋顧問税理士が相談に応じています。



◆歯科研究会「CAD/CAM機器の特性と補綴時の配慮ポイント」（3/31）
和田精密歯研（株）顧問で歯科技工士の山口敦氏が講師を務め、22人が参加しました。

4月

统一地方選（4月9日投・開票）
県議会議員立候補予定者に対して医療等に関するアンケートを実施しました。

▼ポストコロナ 会員アンケート記者発表（4/12）
開業医の6割以上が今後の経営を不安視している実態と患者の受診抑制も生じていることを報告。進む開業医の高齢化についても訴えました。



◆県にIR整備計画撤回を求める要請（4/13）
本田会長が「不透明な計画から今すぐ撤退すべき」との要望書を県に提出しました。



▶市民公開講演会（4/19）
熊本協会理事で産婦人科医の片瀬美和子先生が、「学校での性教育支援を通して考える～自分を大切にすること～」と題して講演し、50人が参加しました。

5月

▶承継・閉院テキストの発行
医院の承継・閉院に役立つ情報となるよう、「診療所の承継と閉院」を作成。別冊として「閉院時の提出書類」の原紙を一纏めにした綴りもあわせて作成。

◆学校健診後治療調査結果記者発表（5/18）
2022年度の学校健診後治療調査結果を本田会長と渡邊常任理事が報告しました。

▼平和問題講演会「戦争を回避するために、軍拡ではない道筋」（5/20）

元防衛官僚の柳澤協二氏が講演しました。県内マスコミOBで作る「言論ながさき」が協賛し、106人が参加しました。



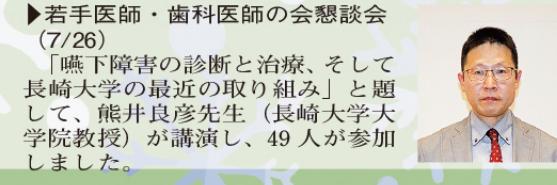
▼スタッフ接遇セミナー「医療従事者として意識しておきたい話し方」（5/23）

福岡市・K'sオフィス代表の佐竹桂子氏が講演し、292人が参加しました。

6月

▼保団連国会行動（6/1）
加藤・西岡・山田・古賀議員と面談しました。

新型コロナ五類移行後の医療機関の現状やこども医療及び妊産婦医療費助成制度の拡充、歯科医療の改善などを求めました。11月には診療報酬の引き上げを求める会員署名190人分や保険証廃止問題会員アンケート結果を提出しました。



8月

新型コロナへの取り組み、保険証廃止問題でマスクミ取材

協会版HER-SYSに関心が寄せられ、長崎新聞が報道しました。地域で奮闘する開業医への取材にも協力し、マスクミ取材にも多数多く、協力しました。

インボイス学習講演会（8/29）

「インボイス制度ーその先の税率アップで医業経営はいいよいよ求められる医療のゼロ税率適用」と題して、嶋賢治協会顧問税理士に講演いただき、15院所17人が参加しました。



◀講演会「江戸時代の丸山遊郭」（8/31）

長崎活水女子大学教授の赤瀬浩先生を講師に51人が参加しました。

9月

▼オンライン資格確認・マイナ保険証に対する実態調査記者発表（9/14）

トラブル事例を発表しました。マスクミの注目を集めました。保険証廃止延期の必要性を訴えました。11月には顔認証システムの問題点と医療機関からの声を報告しました。

▼ワインを愉しむ会（9/22・長崎、11/22・佐世保）

ワイン談義を交えながら会員の交流を深めました。参加はそれぞれ23人、6人でした。



▼マスクミ懇談会（9/28）

長崎・西日本・毎日新聞の3社が出席。マイナ保険証等に対する実態調査結果を示しながら、資格確認や顔認証トラブル等への現場の対応について説明しました。



長崎4区補欠選挙立候補予定者に要望書を送付（9/28）

保険医が求める医療改善の声など14項目の要望書を送付しました。

10月



◀歯科医科合同研究会「腸内細菌と免疫による歯周病の増悪化の仕組み」（10/13）

田中芳彦先生（福岡歯科大学機能生物化学講座感染生物学分野教授）が講演。70人が参加しました。

▼佐世保市議との懇談（10/16）

文教厚生委員会委員長の鶴大地氏と妊産婦医療費助成・成人の軽中等度難聴者への補聴器助成・帶状疱疹ワクチン接種費用助成について意見を交換しました。



◀いい歯データクイズ&アンケート（10/10～11/30）

県民への啓蒙を目的として毎年実施。今回は947通の応募がありました。



11月 ▼保団連九州ブロック地域医療交流会 in 宮崎（11/18～19）

「情報化社会と医療」をメインテーマに65人が参加。講演「医療機関へのサイバー攻撃の実態とその対策」のほか、9協会から演題発表が行われ、黒木副会長が「e-ラーニングのあゆみ」について報告しました。

12月

保険医厚生会結成・新グループ保険発足（12/1）

グループ生命保険のスケールメリットを大きくし、会員にさらに役立つ事業を展開するため、6協会（福島・茨城・栃木・広島・徳島・長崎）で保険医厚生会を発足しました。（6月）。代表理事に長崎協会の本田会長が就任し、長崎に本部が設けられました。12月に新保険がスタートしました。